

## 令和4年度 一般会計 予算内示 事業別概要書 (当初)

款	9. 教育費	大事業	11. 特別支援教育推進事業
項	1. 教育総務費	中事業	
目	3. 教育研究指導費	担当所属	教育センター

予算種別	補助/単独	事業区分	前年度 当初予算額	増減額	前々年度 決算額			5年間計画額	
臨時	単独	計画	0	0	98,932	実施計画	第4章	豊かな心を育み 笑顔あふれるまち (教育)	372,431
							基本施策2	教育環境	令和3年度 0
									令和4年度 124,145
									令和5年度 124,143
							施策1	良好な学習環境を整備します	令和6年度 124,143
								令和7年度 0	

本年度事業費	(歳入)	(歳出)
本年度当初要求額		
本年度当初査定額		122,859

財源内訳									一般財源
本年度当初要求額									0
本年度当初査定額									122,859

<事業に関する説明>

<p>(事業の概要) ・佐倉市教育支援委員会を開催します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援教育支援員を適正に配置します。</li> <li>・特別支援教育研修会を開催します。</li> </ul>	<p>(事業の目的) ・教育支援委員会において、発達に課題のある幼児児童生徒について適切な就学先や支援内容を検討します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発達に課題のある幼児児童生徒への適切な支援を行うことで、主体的な学習の実現を図ります。</li> </ul>	<p>(事業の効果) ・教育支援委員会において、発達に課題のある幼児児童生徒について、医師等から専門的な意見を聴取することにより、一人一人の教育的ニーズに応じた支援を適切に行うことができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別な教育的支援が必要な幼児児童生徒が在籍する学校(園)に特別支援教育支援員を配置することで、充実した学習・生活の支援ができ、よりよい学校運営につながります。</li> </ul>
<p>(事業実施上の問題点) ・発達に課題を持つ子どもが通常の学級にも多く在籍しており、個々の子どもの実態に応じた対応が求められています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校だけでなく、幼稚園からの要望もあります。</li> <li>・特別支援教育支援員の採用には時間を有します。</li> </ul>	<p>(前年度からの見直し点) ・支援を必要とする幼児児童生徒の増加にあたり、特別支援教育支援員の増員が必要と判断し、増額要求としています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援教育研修会や支援員研修会等で特別支援教育の動向や専門的な知識・技能等を身につけるために講師謝礼金を要求します。</li> </ul>	<p>(見積についての特記事項) ・各学校の特別支援教育対象の幼児児童生徒数は増加傾向にあります。そのため、多くの学校に特別支援教育支援員を適正配置することが必要です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個に応じた適切な支援のため、特別支援教育支援員の配置は、欠かすことのできない状況です。</li> </ul>

節	本年度 当初査定額	前年度 当初予算額	増減額
01	31,932	30,279	1,653
02	49,632	47,318	2,314
03	21,778	21,752	26
04	18,046	13,806	4,240
07	10	0	10
08	1,257	1,197	60
10	157	149	8
11	47	37	10

特定財源	款	項	目	節	細節	細々節	歳入特定財源科目名称	本年度 要求額	本年度 査定額	前年度 予算額	増減額
								差引一般財源	0	122,859	0